

2020年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年11月8日

上場会社名 株式会社エーワン精密 上場取引所 東  
 コード番号 6156 URL <http://www.a-one-seimitsu.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 哲也  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 哲也 (TEL) 042-363-1039  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第1四半期の業績 (2019年7月1日~2019年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第1四半期	465	△8.8	129	△23.5	130	△23.8	89	△24.1
2019年6月期第1四半期	510	5.5	168	18.7	170	17.5	118	△7.4

  

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第1四半期	37.47	—
2019年6月期第1四半期	49.39	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第1四半期	8,857	8,149	92.0
2019年6月期	9,006	8,227	91.4

(参考) 自己資本 2020年6月期第1四半期 8,149百万円 2019年6月期 8,227百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2020年6月期	—				
2020年6月期(予想)		0.00	—	80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年6月期の業績予想 (2019年7月1日~2020年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,108	5.0	360	9.8	365	9.2	249	8.3	103.97
通期	2,200	5.6	688	8.1	698	7.7	475	6.3	198.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年6月期1Q	3,000,000株	2019年6月期	3,000,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2020年6月期1Q	600,752株	2019年6月期	600,752株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年6月期1Q	2,399,248株	2019年6月期1Q	2,399,249株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、世界的な経済情勢の悪化を受けて減速しました。数年来、堅調に推移してきた世界経済は昨年転換点を迎え、米国の自国第一主義による世界各国との軋轢、米中間の貿易関税引き上げの応酬、英国のEU離脱問題、中東や新興国の政治・経済の不安定化など世界経済の不安定要素が顕在化してきました。ヒト、モノ、金、情報が圧倒的な速さで世界を行き来するなかで、製造業においても製品、部品、材料の生産は、国・地域を超えて生産最適地に分散してきました。製造業の世界分散、生産平準化が進んできた状態で、各国間の政治・経済的対立は、製造業の生産チェーンの円滑さを阻害する要因であり、世界の景気が頭打ち傾向になってきた時期に重なり、その業況は悪化し始めてきました。

日本国内の製造業も世界景気の動向とは無縁ではなく、生産活動全般に影響が出てきました。量産部品加工が減少し機械稼働率が低下することで、設備投資も減少し、設備・治工具も減少しました。電子部品、半導体、精密部品、自動車、工作機械など幅広く減少傾向となりました。

このような状況のなかコレットチャック部門では、7月は前年に比べやや低調なスタートで、8月は顧客企業の減産の影響が出て当社の受注はさらに落ち込み、9月はやや戻しました。

この結果、当セグメントの当第1四半期累計期間の売上高は324,417千円（前年同期比10.0%減）、セグメント利益は166,488千円（前年同期比17.2%減）となりました。

切削工具部門では、7月は前年並みの受注でスタートしましたが、8月は大きく落ち込み、9月はやや戻しました。

この結果、当セグメントの当第1四半期累計期間の売上高は132,884千円（前年同期比7.2%減）、セグメント利益は30,185千円（前年同期比17.4%減）となりました。

自動旋盤用カム部門では、カム式自動旋盤を使用する部品加工が堅調に推移し、当社への受注が増加したことで、売上は増加しました。

この結果、当セグメントの当第1四半期累計期間の売上高は7,871千円（前年同期比19.2%増）、セグメント利益は3,900千円（前年同期比39.9%増）となりました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は465,173千円（前年同期比8.8%減）、営業利益は129,137千円（前年同期比23.5%減）、経常利益は130,304千円（前年同期比23.8%減）、四半期純利益は89,902千円（前年同期比24.1%減）となりました。

セグメント別の売上は、以下のとおりであります。

(%表示は対前年同期比)

事業部門別	期別	第29期 第1四半期 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)		第30期 第1四半期 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)		第29期 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	
		百万円	%	百万円	%	百万円	%
コレットチャック部門		360	(106.2)	324	(90.0)	1,470	(103.5)
切削工具部門		143	(103.7)	132	(92.8)	587	(99.3)
自動旋盤用カム部門		6	(113.4)	7	(119.2)	26	(96.7)
合計		510	(105.5)	465	(91.2)	2,084	(102.2)

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は、7,242,223千円(前事業年度末は7,409,379千円)となり167,155千円の減少となりました。これは、仕掛品が10,272千円増加しましたが、現金及び預金が120,796千円、受取手形及び売掛金が55,153千円、原材料が1,738千円減少したこと等によるものであります。

また当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は、1,614,949千円(前事業年度末は1,596,671千円)となり18,278千円の増加となりました。これは、建物及び構築物が4,286千円、繰延税金資産が1,145千円減少しましたが、機械装置及び運搬具が24,480千円増加したこと等によるものであります。

この結果、当第1四半期会計期間末における総資産は、8,857,173千円(前事業年度末は9,006,050千円)となりました。

### (負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は、229,940千円(前事業年度末は303,037千円)となり73,096千円の減少となりました。これは、未払金が30,486千円増加しましたが、未払法人税等が77,993千円、役員賞与引当金が12,770千円減少したこと等によるものであります。

また、当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は、477,913千円(前事業年度末は475,417千円)となり2,496千円の増加となりました。これは、役員退職慰労引当金が2,970千円減少しましたが、退職給付引当金が5,466千円増加したことによるものであります。

この結果、当第1四半期会計期間末における負債合計は、707,854千円(前事業年度末は778,454千円)となりました。

### (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、8,149,319千円(前事業年度末は8,227,595千円)となり78,275千円の減少となりました。これは、利益剰余金が78,044千円、その他有価証券評価差額金が231千円減少したことによるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間及び通期の見通しにつきましては、今のところ2019年8月9日発表の業績予想どおりとしておりますが、当第1四半期累計期間において受注が大きく増減しているため、今後の予想については精査しているところであります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,758,282	6,637,486
受取手形及び売掛金	449,266	394,113
製品	1,778	1,768
原材料	30,454	28,716
仕掛品	169,876	180,148
その他	215	369
貸倒引当金	△494	△379
流動資産合計	7,409,379	7,242,223
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	477,231	472,945
機械装置及び運搬具(純額)	500,739	525,219
土地	328,869	328,869
その他(純額)	2,200	1,968
有形固定資産合計	1,309,040	1,329,001
無形固定資産	1,691	1,595
投資その他の資産		
投資有価証券	125,765	125,434
長期前払費用	780	668
繰延税金資産	159,373	158,228
その他	1,026	1,002
貸倒引当金	△1,006	△981
投資その他の資産合計	285,939	284,352
固定資産合計	1,596,671	1,614,949
資産合計	9,006,050	8,857,173
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	17,074	16,138
未払金	107,727	138,213
未払法人税等	122,308	44,315
役員賞与引当金	16,000	3,230
その他	39,926	28,043
流動負債合計	303,037	229,940
固定負債		
退職給付引当金	359,967	365,433
役員退職慰労引当金	115,450	112,480
固定負債合計	475,417	477,913
負債合計	778,454	707,854

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	292,500	292,500
資本剰余金	337,400	337,400
利益剰余金	8,413,222	8,335,178
自己株式	△841,335	△841,335
株主資本合計	8,201,787	8,123,742
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	25,808	25,577
評価・換算差額等合計	25,808	25,577
純資産合計	8,227,595	8,149,319
負債純資産合計	9,006,050	8,857,173

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2018年7月1日 至2018年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自2019年7月1日 至2019年9月30日)
売上高	510,203	465,173
売上原価	272,403	266,891
売上総利益	237,799	198,281
販売費及び一般管理費	68,890	69,144
営業利益	168,908	129,137
営業外収益		
受取利息	146	175
売電収入	1,660	758
貸倒引当金戻入額	—	118
その他	220	115
営業外収益合計	2,027	1,167
経常利益	170,936	130,304
特別利益		
固定資産売却益	—	73
特別利益合計	—	73
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税引前四半期純利益	170,936	130,377
法人税、住民税及び事業税	54,850	39,230
法人税等調整額	△2,412	1,245
法人税等合計	52,437	40,475
四半期純利益	118,499	89,902



## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	コレット チャック部門	切削工具部門	自動旋盤用 カム部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	360,425	143,172	6,604	510,203	—	510,203
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	360,425	143,172	6,604	510,203	—	510,203
セグメント利益	201,122	36,557	2,787	240,468	△71,559	168,908

(注)1 セグメント利益の調整額は、製造部門共通費△2,668千円と主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	コレット チャック部門	切削工具部門	自動旋盤用 カム部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	324,417	132,884	7,871	465,173	—	465,173
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	324,417	132,884	7,871	465,173	—	465,173
セグメント利益	166,488	30,185	3,900	200,574	△71,437	129,137

(注)1 セグメント利益の調整額は、製造部門共通費△2,292千円と主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。